

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年3月19日～3月25日)

平成 27 年(2015 年)3 月 27 日

H E A D L I N E S

政治

大統領選候補者, 国家選挙委員会への立候補手続きを完了
 コモロフスキ大統領は, チュニジア・テロ事件及び反テロ安全保障に関する会議を主催
 コモロフスキ大統領, アーデル・ハンガリー大統領と会談
 コパチ首相, 欧州理事会に出席
 コモロフスキ大統領, ブリュッセルにて外交・安全保障に関する演説
 ドイツ旅客機墜落事故に関するポーランド政府の対応
 シェモニャク副首相兼国防相の韓国訪問

経済

政府は科学とビジネスの協業に向け支援
 2月の消費は僅かに減少
 2月の失業率は12.0%
 2月の新規受注は大きく回復
 LOTが旅客輸送のみで純益
 シフィノウィシチェLNG基地は97%完成
 競争・消費者保護庁が炭鉱買収を了承
 ポーランドでは高齢化が進行－専門家が警告

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

大統領選候補者、国家選挙委員会への立候補手続きを完了【26日】

5月10日に実施予定の大統領選挙に関し、26日に国家選挙委員会への立候補手続きの締め切りを迎え、この日までにコモロフスキ大統領や最大野党「法と正義」(PiS)のドゥダ候補を始めとする11名の候補者が立候補に必要な有権者10万名以上の署名を提出した。現在、国家選挙委員会は署名の有効

性等の確認作業を行っており、既に11名中5名の立候補を正式に受理した。23日付の世論調査機関TNS POLSKAの調査結果によると、主要候補への支持率は、コモロフスキ大統領41%、ドゥダPiS候補24%、オグレク民主左翼連合(SLD)候補6%、ヤルバス農民党(PSL)候補2%、コルヴィン=ミツケ候補2%、クキス候補2%となっている。

外交・安全保障

コモロフスキ大統領は、チュニジア・テロ事件及び反テロ安全保障に関する会議を主催【19日】

19日、コモロフスキ大統領は、チュニジアにおけるテロ事件及び反テロ安全保障に関する会議を主催し、スヘティナ外相、ピョトロフスカ内務・行政相、特殊機関及びポーランド軍代表が出席した。同会議では、主に今次テロ事件の結果、ポーランド外交施設の安全対策システム及び反テロ活動に関する議論が行われた。

コモロフスキ大統領、アーデル・ハンガリー大統領と会談【20日】

20日、コモロフスキ大統領は、カトヴィツェにてアーデル・ハンガリー大統領と会談を行い、二国間関係を中心に意見交換した。また、21日、コモロフスキ大統領夫妻は、アーデル大統領夫妻と共に同地で開催されたポーランド・ハンガリー友好日記念式典に出席した。

コパチ首相、欧州理事会に出席【19日・20日】

19日・20日、コパチ首相は、ブリュッセルにて開催された欧州理事会に出席し、EUの東方政策及びエネルギー同盟等に関する議論に参加した。同首相は、理事会後に、EUは対露制裁維持をミンスク合意の内容と関連付けることに成功した、ミンスク合意は2015年末までの同合意の履行に言及しており、従って対露制裁は本年末まで継続しなければならない旨述べた。また同首相は、エネルギー同盟に関し、今次欧州理事会はポーランドにとって非常に重要な(エネルギー購入に関する)国際的な商業契約の透明性に関する文言を承認した、また、加盟国が自国

の自然資源を活用する権利も認められた、ポーランドは石炭を活用し続ける旨述べた。

コモロフスキ大統領、ブリュッセルにて外交・安全保障に関する演説【22日】

22日、コモロフスキ大統領はドイツ・マーシャル・ファンド主催のブリュッセル・フォーラムにて演説を行い、ウクライナ問題に触れつつ、現在(西側の)安全保障基盤が弱体化し平和の時代が終わったこと、欧州・大西洋共同体の共通の価値及び利益に対する深刻な脅威に対し西側を結束させる長期的な戦略が必要であること等に言及した。

ドイツ旅客機墜落事故に関するポーランド政府の対応【24日・25日】

24日にジャーマンウイングス機がフランス南部で墜落したことを受け、同日、コモロフスキ大統領は、独大統領及びスペイン国王に対し弔意メッセージを発出した。また同日、コパチ首相は、墜落事故の犠牲者の親族に対する弔意を表明した。25日、外務省は声明を発表し、犠牲者の近親者に対する弔意を表すると共に、犠牲者の中にポーランドを含む複数の国籍を保持する乳児が含まれていることを明らかにした。

シェモニャク副首相兼国防相の韓国訪問【26日】

25-26日、シェモニャク副首相兼国防相は韓国を訪問し、韓民求国防相とミサイル防衛、サイバー・セキュリティ、今後の協力関係、アジア太平洋地域及びウクライナに関する安全保障情勢について協議をした。

経 済

経済・財政政策

政府は科学とビジネスの協業に向け支援【25日】

産業開発公社(ARP)は、今年事業再編や事業開発を行う大企業向けに4億ズロチの融資を準備して

いる。この融資に業種による縛りはなく、2020年までに合計18億ズロチが準備されるという。ARPは、主に中小規模の研究機関と企業間の協力を促進す

るため、技術移転プラットフォーム枠組みを経由した融資も行うこととしており、専門家による支援も行う

予定であるという。

マクロ経済動向・統計

2月の消費は僅かに減少【19日】

中央統計局(GUS)によれば、2月の小売販売は前年同月比で1月の同0.1%増から低下した1.3%減となっている。実質ベースは2.4%増。前月比では、1月の同22.6%減から回復した2.0%減となっている。ユーロ圏の需要増加に対し、国内需要の低下が懸念されるが、専門家は昨年年初の消費が好調だったためハイペース効果が発生しているとし、年内に消費は回復すると予想している。

2月の失業率は12.0%【24日】

中央統計局(GUS)によれば、2月の失業率は前月と同水準かつ前年同月の13.9%より大幅に改

善された12.0%であった。また、2月末の登録失業者集は、前月より100人増、前年同月より337、200人減となる1,918,700人となっている。2月の求人数は、前月の56,200人及び前年同月の48,400人より増加した57,800人となっている。

2月の新規受注は大きく回復【24日】

中央統計局(GUS)によれば、2月の新規受注は、前年同月比で1月の同5.3%減から大きく回復した0.2%増となっている。前月比では、1月の同8.1%増に対し0.7%増。輸出需要は、1月の前年同月比1.8%減及び前月比10.7%増に対し、それぞれ同6.8%減、同4.2%減と減少している。

ポーランド産業動向

LOTが旅客輸送のみで純益【19日】

ポーランド航空(LOT)は、2014年の経常収支において、2007年以来はじめて旅客輸送のみで7千万ズロチの純益が発生することが明らかになった。これによりポーランド政府による2度目の救済支援

額は2億5千万ズロチ程度減額される見込み。現在経営再建中のLOTは、今年に入り再建終了直後となる2015年初に大幅増便することを計画中で、次々に新しい就航先を明らかにしている。

エネルギー・環境

シフィウシチェLNG基地は97%完成【19日】

国有財産省ガヴリク副大臣は、ポーランド下院(Sejm)の委員会において、シフィウシチェのLNG基地は97%完成していると述べた。同副大臣によれば、完成に近づいていることが明確になっておきており、近い将来に完成できるだろう、と述べている。シフィウシチェLNG基地は2014年夏に完成から遅れており、最高監査院(NIK)も関係する企業、政府機関が遅れを引き起こしていると指

摘していた。

競争・消費者保護庁が炭鉱買収を了承【20日】

競争・消費者保護庁(UOKiK)は、コンパニア・ヴェングロヴァによる一部炭鉱のSRK(鉱山特別精算会社)への売却を了承した。今回の売却は今年1月の政府・労組間の合意に基づくもので、今回売却の対象となるのは、Piekary, Brzeszcze, Sosnicaの一部、Bobrek-Centrumの一部の計4鉱山。

エネルギー・環境

ポーランドでは高齢化が進行－専門家が警告【23日】

80歳以上の人口が増えている。2030年までに1500万人から2200万人との予測も出ている。高齢者層の人口は1950年代から増加していた。20

26年には戦後生まれの世代が高齢者層に該当する。近年の出生率の低下や兄弟姉妹のいない子供、離婚率の上昇や子供・孫の海外移住等により人口構成の変化が急速に進むことを専門家は警告している。

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】ロジカル・エモーション—日本現代美術展【～4月26日(日)】

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催中です。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されています。

開催場所: クラクフ, クラクフ現代美術館, ul. Lipowa 4

詳細: <http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【～5月18日(月)】

クラクフ市にて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されています。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】きょうの『世界』に耳をすます【3月28日(土), 29日(日) 午後5時開演】

ワルシャワにて、Fundacja Sztuki Marebito主催にてチェスワフ・ミウオシュ『世界 ポエマ・ナイヴネ』(原題: „Świat, poema naiwne”)朗読の夕べ～ポーランド語原詩と邦訳詩による～を開催します。

開催場所: Muzeum Azji i Pacyfiku, ul. Solec 24, 入場無料

詳細: <http://posluchajswiata.com/jp>

【予定】講演会「能音楽」【4月2日(木) 17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、鳥山直也氏による小鼓をはじめとした能音楽に関する講演会が開催されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】欧州空手選手権大会【4月17～18日(金～土)】

ワルシャワにてビエラニ極真空手クラブ主催による欧州空手選手権大会が開催されます。

開催場所: ワルシャワ, Torwar, ul. Lazienkowska 6A

詳細: <http://eurokaratechamps.eu/en/>

読者からの投稿

【予定】パフォーマンス「ヒロシマ・サロン」の開催【4月12日 19:30～】

ワルシャワの Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera にて、ドイツ在住の俳優、原サチコさんが出演するパフォーマンス「ヒロシマ・サロン」が開催されます。

広島への原爆投下と福島での原発事故の二つの悲惨な出来事をテーマとしています。

開催場所： Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera

ul. Jana Zamoyskiego 20, 03-801 Warszawa

詳細：

http://www.powszechny.com/spektakle/hiroshima-salon,s664.html?ref_page=controller,index,action,repertuar

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)